

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行 NO. 1992	
日 時 2022年09月10日(土) 晴れ・霧	
山 域 ハッ・硫黄岳(2760m)	
コース 長泉 5:30ー諏訪南ー夏沢鉱泉第二駐車場下 8:59ー夏沢鉱泉 9:36ーオーレン小屋 10:33ー夏沢峠 11:10ー硫黄岳 12:29(先着 12:17)ー13:15ー赤岩ノ頭ーオーレン小屋 14:18ー夏沢鉱泉 15:01ー駐車場 15:34ー長泉	
標高差 第二駐車場下約 1800mー硫黄岳 2760m=960m	
藪漕度 なし	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
山頂は広大なグラウンド	
参加者 後藤、井上、加藤、伊藤、合谷、星、斎藤	
ど〜が〜 http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-51.mp4	

久しぶりの硫黄岳。ただ、北面からは林道、駐車場に問題がある。兎に角、林道が悪い。ここ何年か林道で痛い目に遭っている。マフラーを損傷したり、氷坂で滑落したり、何かとトラウマである。途中の沢を渡る橋は最悪だった。

また、最近「駐車難民」なる言葉がある。コロナの影響か不明だが、登山者の車が多い。そんな訳で30分早く出た。案の定、夏沢鉱泉第二駐車場は満杯。駐車場でUターンし、すぐ下の林道脇に駐車した。その後も車は続々やって来た。



駐車場

夏沢鉱泉に着いた。オーレン小屋に歩荷の女子がいた。隊は早くもバラけたので、ここから私が最後に行くとは提案したが、結局、「皆でゆっくり行こう」となり、いつも最後を担うIにトップを任せる。

右手の沢沿いの冷気が溢れる爽やかな道を上る。随分整備された道。硫黄岳に初めて訪れたのは、1971年2月4～6日だった。唐沢鉱泉～東天狗岳～根子岳（14：00 ビバーク）～硫黄岳～赤岳鉱泉だった。記録はあるが記憶は全くない。ただ記録は、茅野発3：00とあるが、昔は、そんな時間に着く汽車があったのか。

Iと次第に距離が出来た。Iは、いつも最後尾で「滅私奉公」をしているので、それはそれで良いと思った。ところが、後方にいたKが突然、「さあ、H行くよ～来て～」といってIの元に駆け寄り一緒に上って行った。



夏沢鉱泉



オーレン小屋



夏沢峠

オーレン小屋は賑やかだった。多くの登山者がたむろしていた。飲食メニューが豊富だった。傍らにトリカブトが揺れていた。八ツのトリカブトは、ホソバとキタダケがあるそう。

夏沢峠に向かう。人工物が見えると峠だった。案外、楽だった。兎に角、ここの道は整備が行き届いている。再び全員で合流。峠に霧が往来する。「ヒュッテ・夏沢」は、閉まっていた。前回もそうだったような気がした。

硫黄岳に向かう。標高差約330m、1時間少し。3名先行し、4名でユックリ・ノンビリ上る。動画撮影には丁度良いスピード。

ガラガラの「累卵（るいらん）の岩場が続いた。「累卵」というより、カラカラ音がするから、「カキガラ」の方が良いかも。でも、案外上り易い。



ケルンの道

前方に大きなケルンが立つ。こんな立派なケルンは珍しい。相当の労力を費やしたであろう。硫黄岳山頂着。先着は12分位待ったようだ。他の登山者と喋っていた。

山頂南で昼食。多くの登山者も同じ。この山頂は気持ちが良い。好天なら眼前に南八ッが大きい。ただ皆、辛うじて生えている草の上で休んでいる。これは、マナー違反だ。

Kが持参の固形燃料に火を入れたが、固形燃料が「昇華」して使い物にならなかった。

個体が気体になる現象が話題になった。

1. 液体の内部からの気化を沸騰 2. 液体の表面で起こる気化は蒸発 3. 液体を経ずに固体から気体する現象を昇華、だった。

小一時間休み下山。途中で今朝、我々の車の後ろに駐車した地元親子が上って来た。随分時間が掛かった。昼食は食べたといった。赤岩ノ頭から、オーレン小屋に下る。

夏沢鉱泉で会った父・息子は、オーレン小屋でテン泊といった。テン場は狭いが予約すれば問題ないそうだ。父子でテン泊とは素晴らしい。

第二駐車場の車は、大分減っていた。帰路、御殿場で金時山上に見事な満月。新暦は今日だが、旧暦なら今日は8月15日。旧暦のが季節感があってよろしい。

(完)

参考・・・コースタイム (2008年・エアリアマップ参照)

上り 夏沢鉱泉～オーレン小屋・・・エアリア 40分→→→実時間 57分=+17

オーレン小屋～夏沢峠・・・エアリア 20分→→→実時間 37分=+17

夏沢峠～硫黄岳・・・エアリア 60分→→→実時間 79分=+19

エアリア合計=120分 実時間合計=173分・・・+53分

下り 硫黄岳～夏沢鉱泉・・・エアリア 100分→→→実働時間 106分=+6分

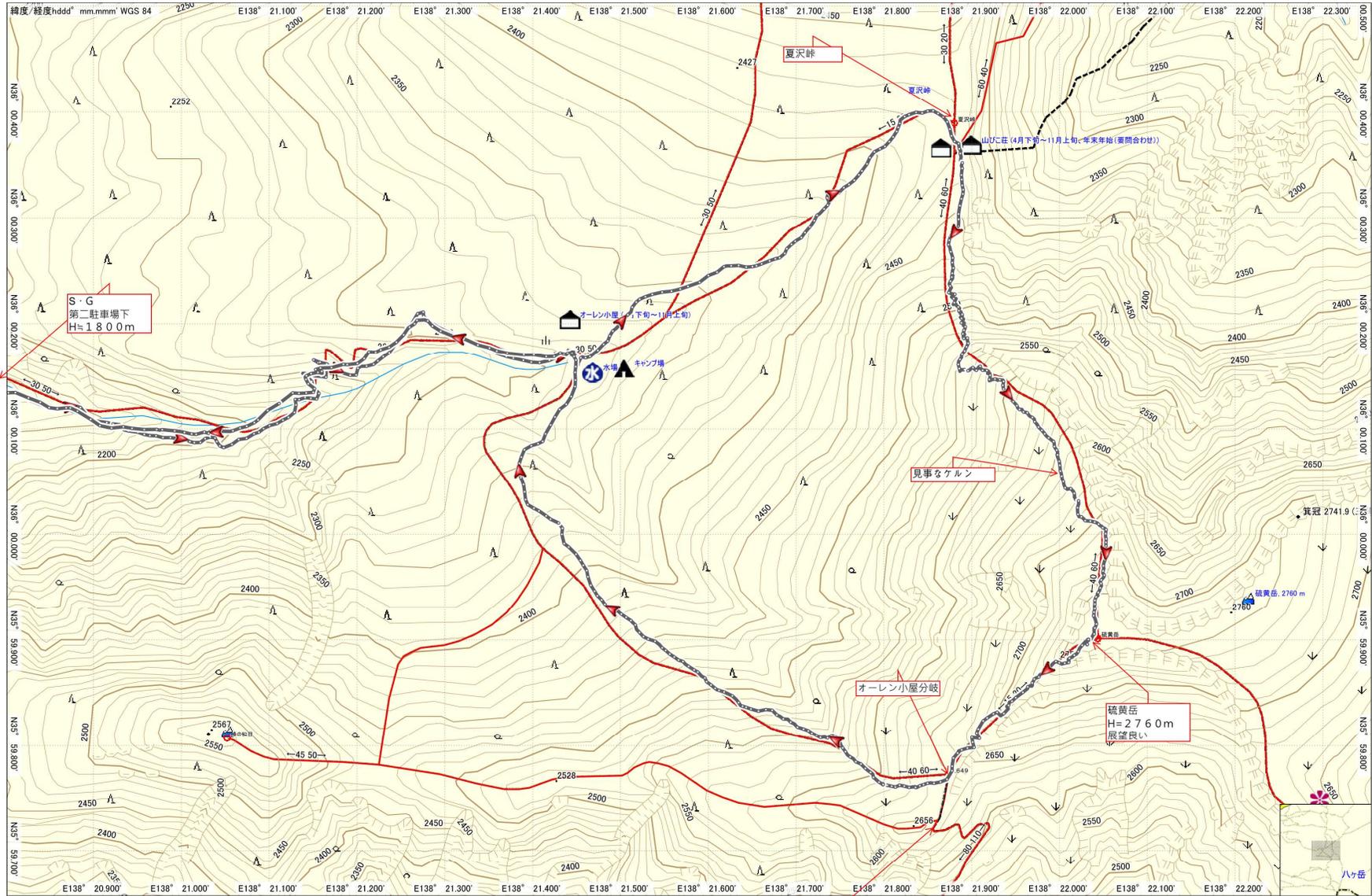
*上り時間が+だが、エアリアマップも、きついタイムはある。参考にして精進しましょう。



硫黄岳山頂



ナナカマド



Japan Topo 10M Plus V3
 © Garmin/Mapbox Co., Ltd. 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2022/09/11 11:37:41



GARMIN

